

### 7月20日(金) “仕事の上手” に

日本古来の武道の一つに“弓道”があるが、この道の達人の域に達すると、たとえ眼かくしをして矢を放つても、ピシャリと的を射るといふ。しかし、こういった名人の域に達するには一朝一夕ではとても覚悟つかない。一矢射るたびに必ず検討を加え、工夫を重ねていって、一步一步、上達していくのである。

私は“仕事”にしても、これと同じことが言えると思う。日々、みずからの仕事の成果を検討することに努めれば、必ずや“仕事の名人”とまではいかななくとも“仕事の上手”にはなれると思う。百本の矢を射れば、少なくとも八十本は的に当たるといふ“上手”の域にまで、おのおのの仕事を高めたい。

### 7月21日(土) 世間は神のごときもの

事業が大きくなってくると、仕事もだんだんと複雑になって、そこにいろいろな問題が起こってくる。

私は、この問題をどう考え、どう解決すべきかと日々の必要に迫られて、その解決策の根本を求めていくうちに、“世間は神のごときもの、自分のしたことが当を得ていると、世間は必ずこれを受け入れてくれるにちがいない”という考えに行きついた。

正しい仕事をしていけば悩みは起こらない。悩みがあれば自分のやり方を変えればよい。世間の見方は正しい、だからこの正しい世間とともに、懸命に仕事をしていこう…こう考えているのである。

### 7月22日(日) フグの毒でも

今日のわが国では、せっかくいいものが発明されても、それに万に一つでも欠陥があれば、もうそれでそのものはすべてだめ、としてしまうような傾向が強いように思われます。それは言ってみれば、フグの毒を発見してフグを食べるのを一切やめてしまうようなものだと思います。

科学技術が非常に進歩した今日に生きる私たちは、フグの安全な調理に成功した昔の人に笑われないよう、物事を前向きに考え、せっかくの科学技術の成果を十分に活用できるだけの知恵を、さらに養い高めていくことが必要ではないかと思ひます。そこに人間としての一つの大きな使命があるのではないかと思うのです。

### 7月23日(月) 末座の人の声を聞く

みなさんが長という立場に立って会議をする場合、一番若輩と言われるような人からも意見が出るということが非常に大切だと思います。そしてそのためには意見が出るような空気といふか雰囲気をつくっているかどうかはまず問題になります。だから末座に坐っている人でも、遠慮なく発言できるような空気をつくること、長たるものの心得だと思ひます。

そして、末座に坐っている人から意見が出たなら、葬ってしまうようなことをせず、喜んでそれを聞く謙虚さ、雅量といふものを持つことが非常に大事だと思います。それを持っていないと、そのグループなり会社はうまくいかななくなってしまうでしょう。

### 7月24日(火) 利害を超える

ある日、私のところに「自分の会社で造る製品の販売を引き受けてもらえないか」といふ話を持ってこられた人がいた。私はいろいろとその人の話を聞いてみて、この人はえらい人だなと思ひました。普通であれば、自分にできるだけ有利になるよう交渉する。それがいわば当たり前である。ところが、その人は「すべてをまかせる」といふ、自分の利害を超越した態度をとられた。私はその態度に感激し心を打たれた。

われわれはともすれば自分の利害を中心に物を考える。これは当然の姿かもしれない。しかし、それだけにそれを超越したような姿に対しては、心を動かされる。これもまた人間としての一つの姿ではないか。

### 7月25日(水) 三回ダメを押す

新しい仕事をするときはよほど注意をしなければいけない。その仕事を進めていくとき、上長の人に承諾を得ても、実行するに当たっては、三回ダメを押したい。一度だけ「よろしいか」、「ああよかろう」と承認されても、それで事足りるとしてはいけなない。そして後でうまくいかなかったときに、「あのときに上長のあなたが承諾したからやったのだ」といふようなことを言うのは、言う方が間違っていると考えるべきだと思ひます。

一度はんを押してもらったからもうそれで事足りるといふような考えでは、真に過ちのない、生きた仕事はできるものではないと思ひます。

### 7月26日(木) 経営にも素直な心が

成功する経営者と失敗する経営者の間にある大きな違いは、私心にとらわれず、公の心でどの程度ものを見ることが出来るか、ということにあると思ひます。私心つまり私欲によって経営を行なう経営者は必ず失敗します。私欲に打ち勝つ経営者であつてこそ、事業に隆隆たる繁栄、発展をもたらすことができると思ひます。

私の欲望にとらわれず、公の欲望を優先させるということは、言葉をかえれば、素直な心になるということ。そのように私心にとらわれず、素直な心で物事を見ることが出来るようにみずからを常に顧み、戒めることが大切だと思ひます。